

科目名 (科目番号)	解剖学		教員名 志賀 隆	学科等	医療技術	必修	履修年次	1
	(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤講師	
授業概要	解剖学は医学を学ぶ場合に基礎となる科目である。生命の最小単位は細胞である。その60兆個もの細胞から構成されている多くの人体組織について、それぞれがどのような構造をし、それらの組織（器官）が互いに連絡しているかを理解する。教科書に沿って細胞、細胞の集合体である組織、そして組織が集合してできる各種の器官の順に授業を進めて行く。結果として解剖学で学んだ各臓器の役割を含めて系統立てて説明ができることを学ぶ。							
目的・目標	目的：人体の構造を肉眼レベルから細胞レベルまで学び、各器官系の構造を機能と関連づけて理解する。 目標：体を表す方向用語、体表区分、骨学、筋学、内臓学、循環系、神経系等の解剖学用語を実体に即して習得し、人体各部がどのように構成されるかについて具体的に理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	解剖学総論		到達目標：人体の構成・解剖学用語・方向用語について理解する 学習内容：人体の区分、方向を表す用語、解剖学的基礎事項を学習する。				
	2	細胞学・組織学		到達目標：細胞分裂・細胞小器官・上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織について説明できる 学習内容：細胞分裂・細胞小器官・上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織について学習する				
	3	骨学：総論・体軸骨格		到達目標：骨の形・関節の種類・脊柱・頭蓋・胸郭について説明できる 学習内容：骨の形・関節の種類・脊柱・頭蓋・胸郭について学習する				
	4	骨学：体肢骨格		到達目標：上肢帯・自由上肢骨・下肢帯・自由下肢骨について機能と関連付けて説明できる 学習内容：上肢帯・自由上肢骨・下肢帯・自由下肢骨について学習する				
	5	筋学：総論・体幹筋		到達目標：筋の形・種類・作用・頭・首・胸・腹・背の筋について説明できる 学習内容：筋の形・種類・作用・頭・首・胸・腹・背の筋について学習する				
	6	筋学：体肢筋		到達目標：肩帯・上腕・前腕・手・骨盤・大腿・下腿・足の筋について機能と関連付けて説明できる 学習内容：肩帯・上腕・前腕・手・骨盤・大腿・下腿・足の筋について学習する				
	7	消化管		到達目標：口・歯・咽頭・食道・胃・小腸・大腸・肛門について機能と関連付けて説明できる 学習内容：口・歯・咽頭・食道・胃・小腸・大腸・肛門について学習する				
	8	消化腺・呼吸器		到達目標：肝臓・膵臓・鼻・喉頭・気管・肺・縦隔・胸膜について機能と関連付けて説明できる 学習内容：肝臓・膵臓・鼻・喉頭・気管・肺・縦隔・胸膜について学習する				
	9	泌尿器		到達目標：腎臓・尿管・膀胱・尿道・陰茎について機能と関連付けて説明できる 学習内容：腎臓・尿管・膀胱・尿道・陰茎について学習する				
	10	生殖器		到達目標：性腺・導管・付属腺・交接器について機能と関連付けて説明できる 学習内容：性腺・導管・付属腺・交接器について学習する				
	11	循環器		到達目標：心臓・血管・胎生循環・リンパ系・造血器について機能と関連付けて説明できる 学習内容：心臓・血管・胎生循環・リンパ系・造血器について学習する				
	12	神経系		到達目標：神経総論・脳・脊髄・脳神経・脊髄神経について説明できる 学習内容：神経総論・脳・脊髄・脳神経・脊髄神経について学習する				
	13	感覚器		到達目標：皮膚・毛・爪・乳腺・視覚器・平衡聴覚器・化学受容器について機能と関連付けて説明できる 学習内容：皮膚・毛・爪・乳腺・視覚器・平衡聴覚器・化学受容器について学習する				
	14	内分泌器		到達目標：下垂体・松果体・甲状腺・上皮小体・膵島・副腎について機能と関連付けて説明できる 学習内容：下垂体・松果体・甲状腺・上皮小体・膵島・副腎について学習する				
	15	発生学(人体発生の概要・前発生・受精・初期発生・器官発生・胎膜・胎盤について)		到達目標：人体発生の概要・前発生・受精・初期発生・器官発生・胎膜・胎盤について説明できる 学習内容：人体発生の概要・前発生・受精・初期発生・器官発生・胎膜・胎盤について学習する				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)(対面・オンライン共通)							
教科書	教科書見て読んで学ぶ人体解剖生理学			堀川宗之		真興交易(株)医学出版部		
参考図書								
教員からのメッセージ	解剖学では解剖学用語をはじめとする専門用語がきわめて多いので、くり返し学習して記憶する必要がある。合わせて解剖学は自分自身の体について学ぶ学問であることを理解してください。オンライン授業に伴い、授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							